

# 短くなっただえんぴつへ

ぼくは、入学した時初めて名前が入ったえんぴつをもらいました。色も大好きな色だからドキドキワクワクして毎日、漢字練習を一生けん命して、たくさんの文字をかいたね。大事に大事に使って、ある日気がついたらぴつずりに入らなくなってしまうたよ。それだ、たから、書けるところまで使っていたけれど、短かくなると、お気に入りだけじゃなくなっておじいちゃんんだよと教えてもらったからです。

使っていくうちに自分の指になじんだり、合った気がしたんだ。いつでも、どこでも買えないけれど、自然の木から産まれてきた一つの命なのだと思います。大切に思えたんだ。

大切に思う気持ちを教えてくれた短くなっただえんぴつに、心からありがとうを伝えます。短くなっただえんぴつ5年間ぼくと一緒に命を大切にする気持ち

勉強してくれてありがとう。みんなに物の

